

平成23年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟市ひまわりクラブ		
管理者名	社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会	指定期間	平成23年4月1日 ～ 平成26年3月31日
担当課	福祉部こども未来課		
所在地	条例に記載の通り（市内79クラブ）		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市ひまわりクラブ条例		
施設概要	対象者	昼間保護者のいない児童。原則として小学3年生まで。	
	費用	月6,900円とクラブ活動費（月2,000円程度） 保護者の税額により減免制度あり	
	開設日時	学校の平常授業期間・・・放課後から午後6時30分まで 土曜日、学校の臨時休業、長期休業・・・午前8時から午後6時30分 ただし、日曜日、祝日および年末年始（12月29日～1月3日）は閉設	

施設設置目的	
昼間保護者のいない家庭の小学校低学年児童等の健全な育成を図ること。	
管理・運営に関する基本理念、方針等	
基本方針	<p>【基本理念】 放課後、保護者の代わりに家庭的機能の補完をしながら「生活」の場を提供し、「遊び」及び「生活」を通してその子どもの健全育成を図る。</p> <p>【基本方針】 子どもの健康管理、安全管理、情緒の安定を図ること 遊びの活動への意欲と態度の形成を図ること 遊びを通しての自主性、社会性、創造性の向上を図ること 保護者の子育ての支援を図ること</p>
運営組織	<p>【職員配置】 ＜正規指導員＞ 嘱託職員 各クラブ2名 ＜臨時指導員＞ 加配指導員、フリー指導員、土曜登録指導員、日々代替指導員、土曜短時間登録指導員、短時間登録指導員</p> <p>【人材確保、育成、研修に対する考え方及び内容】 質の高い人材を育成するための計画的な研修の実施 広く人材を確保するための職員の公募、厳正な選考及び採用前研修 実習生や職場体験の積極的な受け入れ</p>
運営についての提案	<p>【子どもの発達段階に応じた健全育成】 子どもの発達の特性をふまえた、個々の実際に即した援助 小学校・ふれあいスクール・民生児童委員等、様々な地域の関係機関と密接に連携をとり、地域全体で課題を解決 子どもと保護者の立場に立った、障がい児の入会希望の受け入れ 小学校・地域の専門機関等との連携や研修会による障がい児の支援の向上</p> <p>【利用促進への考え方及び内容】 学校や地域に向けた、積極的な情報発信 地域行事への積極的な参加</p> <p>【要望・苦情に対する対応及び方法】 要望や苦情は積極的に聞き、取り入れるべき内容は事業に反映する。 ＜苦情解決の方法＞ 面接、電話、書面などによる苦情の受け付け 苦情の報告書へのまとめ、担当者と責任者による内容確認 必要に応じ第三者委員会による内容確認 解決に向けた話し合い</p>

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市 民	児童福祉の充実	待機児童 0人	待機児童 0人	A	目標を達成した。
	障がい児の受け入れ	障がいのある児童の入会希望可能な限りすべて受け入れ	全て入会	A	障がいを理由に断ることなく入会希望に対応した。
	緊急時の適切な対応	災害・疾患などによる休校時すべてのクラブで臨時開設などの対応	全て対応	A	インフルエンザや大雪などに適切に対応した。
	地域との交流促進	地域や保護者が参加可能な行事の実施 年30回以上	92回開催	A	目標を大きく上回る回数 of 行事を実施した。
財 務	会計監査	内部監査の実施 年1回	年1回実施	A	目標を達成した。
	管理運営経費の縮減	入札、見積もり合わせなど、管理的経費縮減の努力	縮減努力励行	A	縮減に努めた。
業 務	情報の共有	指導員のミーティングの励行	全クラブ毎日実施	A	ミーティングを励行した。
	防災対策の徹底	避難訓練の実施 年1回以上	全クラブ年1回以上実施	A	目標を達成した。
	個人情報保護の徹底	個人情報保護に関する内部研修 年1回以上	事務研修年2回開催	A	目標を達成した。
	設備の安全管理	施設設備、遊具の安全点検 日常点検・定期点検を実施	毎月点検実施	A	定期的に点検を行った。
	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	仕様書のとおり実施	A	適正に実施した。
人 材	配置人員条件の充足	指導員の配置 2人以上	全クラブ2人以上配置	A	適正に配置した。
	指導員の資質向上	全員研修会の開催 年1回以上	年2回実施	A	目標を達成した。
	指導員の健康管理	定期健康診断及び保菌検査の実施 各年1回以上	各年1回以上実施	A	目標を達成した。

総 合 評 価 (所 見)

資格や経験のある指導員を配置して児童の健全育成に努めるとともに、指導員の更なる資質向上を目指して多様な研修を実施した。

また、インフルエンザの流行などによる学級閉鎖が前の年度に比べ増加したが、臨時開設など適切に対応した。

障がい児への対応やふれあいスクールとの連携など、ひまわりクラブに対するニーズが高まる中、これまでの実績を生かし、今後も市社会福祉協議会ならではの業務内容の改善、向上に努めていただきたい。